

4. ダム補修事例集

各ダムにおける補修事例を次項から掲載する。

市房ダム

1. ダム概要

1.1 概要

球磨川は、昭和 19 年、29 年等に大きな出水を記録し、球磨南部地区、人吉市等に甚大な被害を及ぼした。また、球磨川は、平均河床勾配が 500 分の 1 程度と急流で水量も豊富なことから、水力発電に適している。この様な状況から、球磨川上流に市房ダムが計画され昭和 35 年に竣工した。

1.2 ダム名：市房ダム

1.3 河川名

一級河川球磨川水系球磨川

1.4 位置

右岸：熊本県球磨郡水上村大字湯山

左岸：熊本県球磨郡水上村大字岩野



写真 1.1 市房ダム

1.5 事業者

建設：国土交通省九州地方整備局

管理：熊本県

1.6 目的

洪水調節、既得用水の安定供給、発電

1.7 諸元

表 1.1 諸元表

ダム諸元		貯水池諸元	
型式	重力式コンクリートダム	集水面積	248.0km ²
堤高	78.5m	湛水面積	3.2km ²
堤頂長	258.5m	総貯水量	78,100,000m ³
堤体積	312,466m ³	有効貯水量	68,100,000m ³
放流設備	クレスト：ローラーゲート H14.8m×B7.1m 2門		
	高圧スライドゲート放流管 φ1.1m 1門		

1.8 位置図



図 1.1 市房ダム位置図

1.9 四面図

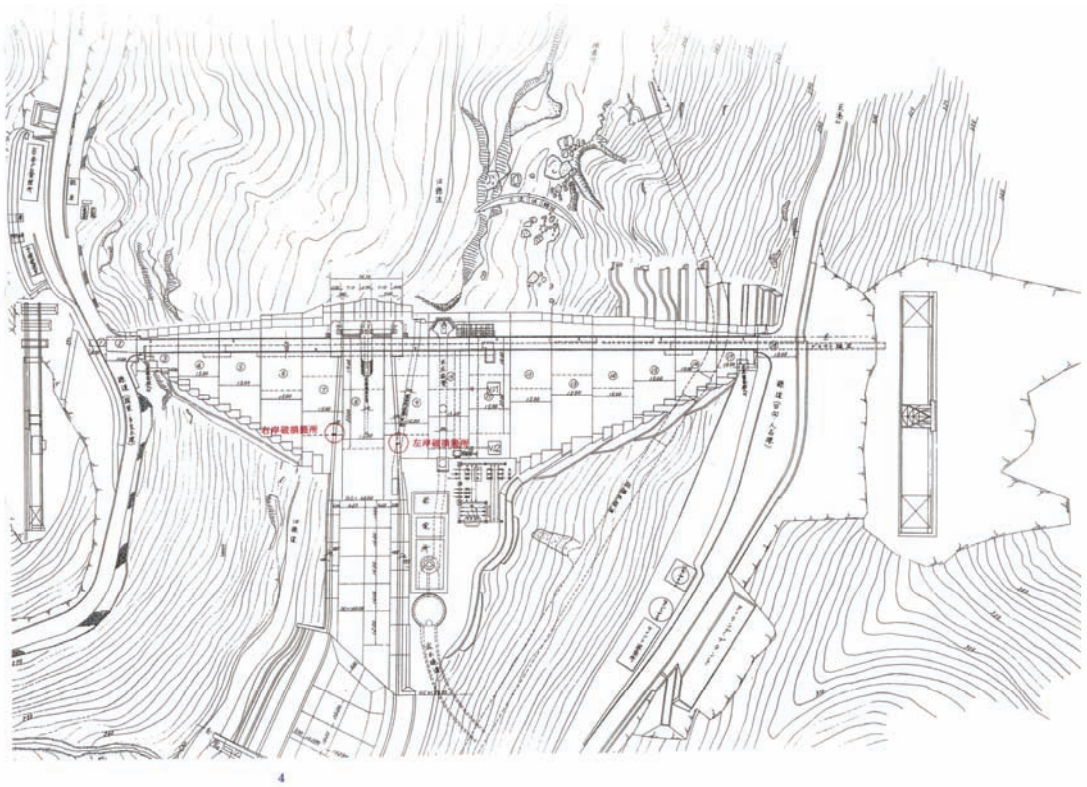


図 1.2 平面図

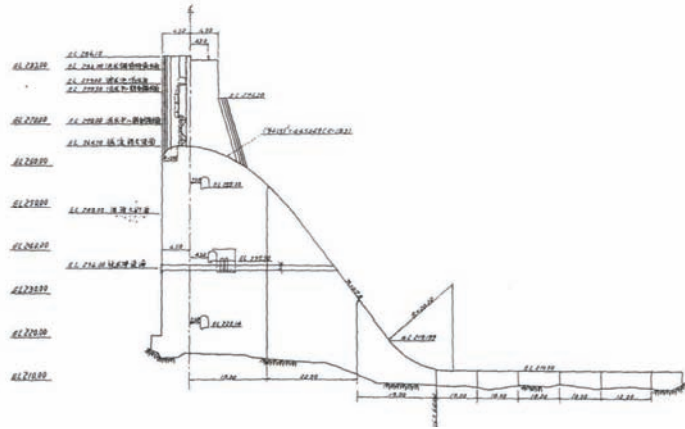


図 1.3 断面図

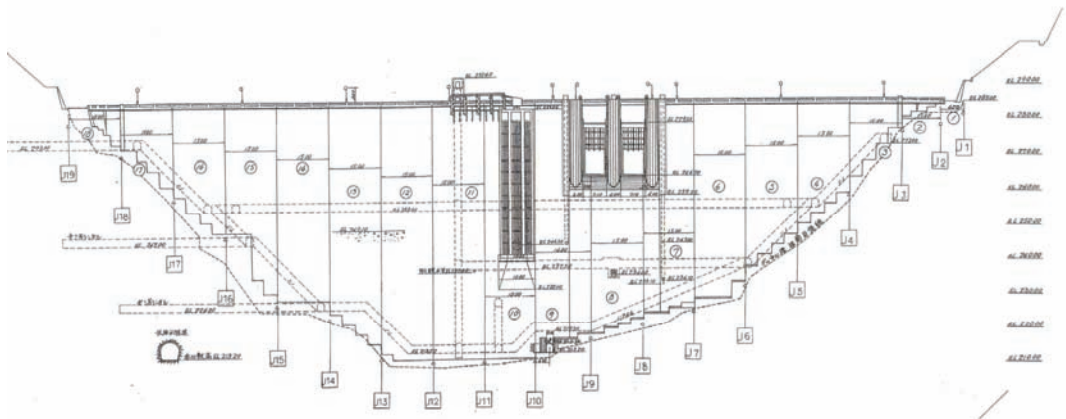


図 1.4 上流面図

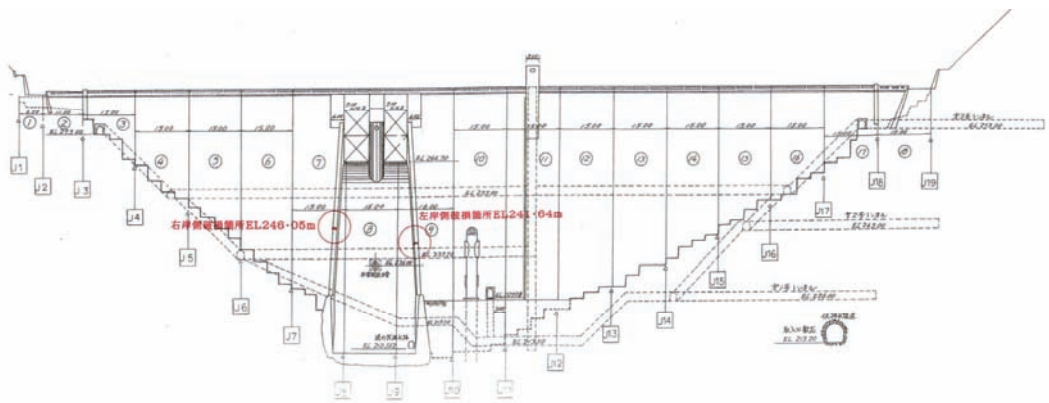


図 1.5 下流面図